

マイケルJローズ ニュースレター

2008年 秋号



愛と光の皆さまへ

お元気ですか？

10月の始めから3週間、マイケル、キャロリンの楽しくて愛あふれるエネルギーと共に過ごしました。

たくさんの学びがありました。それは、ハートレベル、魂レベルの学びなので、文章で表現はしにくいのですが、一つだけ書いてみます。私の理解です・・・

マイケルがパンから学んでいることのなかに、「混沌と秩序」があります。

この世界は、カオス(混沌)とオーダー(秩序)が常にバランスを取ろうとしている

(私たちの考える混沌と秩序とは違います)

そのバランスがくずれると、バランスを取り戻そうとする

バランスを取り戻そう・・・そこに働くものは叡智である意識、その意識は恐れからではなくいつも愛から動いている

(自然界は常に意識、叡智、からの創造。私たち人間は想像力を使って創造する)

この世界、すべてが、愛である 愛が充満している

そして、私たちも愛である

この体も、すべてのものも、神の粒子でできている

あなたがこの瞬間に在ると、そこからの創造となり

そこには愛、喜び、平安、豊かさ、祝福すべてがある

この瞬間から外れると幻想を生きることになる 幻想のなかで、制限のなかで生きる

この瞬間に在ると、私たちは愛のなかにある

私たちは、その広大なワンネス、愛であり叡智である一つの意識の中で

信頼と愛をしっかり選択して生きればいだけ

信頼と愛から創造し、経験し、感じ、学び、それを叡智としていく・・・

だから、二極性を抜け出して、愛から生きる・・・内なるところで自分に宣言しました！！

旅の途中、帰ってからも、うれしいことがたくさんありました。

一つは、マイケル著「時間のない領域へ」[仮題]への出版が決まったことです。出版社はナチュラルスピリットです。マイケルの多次元での素晴らしい経験とそこでの学びが書かれています。何よりも広大な広大な多次元宇宙の一端を、宇宙の愛のエネルギーを、マイケルの経験を通して感じさせてもらえます。出版の時期が決まりましたらホームページやニュースレターを通してお知らせいたします。楽しみにしててください。

もう一つは、マイケルの日本でのホームページが新たになったことです。相澤舞さんが新しく管理してくれることになりました。これからさらに充実していくと思います。舞ちゃん、宜しくお願いします。

これまでホームページを管理してくれた吉野直美さん、ありがとうございました。直ちゃんは、ラブライトメールの管理を引き続き担当してくれます。宜しくお願いします。

私事ではパートナーである俊之さんの内なるところでの静かな変化です。これまで京都セミナーに4回参加しました。とても多忙な日々ですが、彼の中の深いところで平安を感じます。とってもうれしいです♪

自分を大切に、大切に、

自由に、のびやかに、自分らしく

笑顔で素晴らしい毎日を♪

たくさんの愛と感謝を込めて やすみ

マイケルのお話

by マイケル



キャロリンがオーストラリアに来てから丁度 1 年近くなります。彼女は、輝く太陽の暖かい陽射しのように私の人生に入ってきました。それで、記念に海岸線にある素敵なレストランに 2 人の席を予約しようと考えています。彼女と私は 9 月 18 日に結婚しました。「もう少し結婚を待てなかったの？」と聞く人がいるかもしれません。それには、それなりのメリットもあります。しかし、キャロリンの移民手続きを容易にするため、機会を逃さず入籍しました。今年の今頃は、忙しい日々でした！

この 1 年を振り返るととても幸せなことに驚きます・・・キャロリンがいることで喜びにあふれています。2 年前だったら、誰かを再び愛することができるなんて思いもしませんでした。有り得ないと思っていましたが、間違いでした。とても深くキャロリンに愛を感じるので、殆んど気が咎めそうになるほどです！でも気を咎めることはないのです。

トリーニーが体から離れた後、私に話してくれた中に、次の言葉がありました。「愛が愛をどうやって貶めることができるの？」この言葉には、大変深い意味があることに気づきました。

とても深くキャロリンを愛しているので、潜在意識の深いところで、私はいつの間にかトリーニーへの愛を小さくしているような気がしていたのです。しかし、愛が愛を貶めることはできません。愛はとてもパワフルで創造的なパワーなので、人間の思考や感情によってその愛を小さくしたりすることはできないのです。

このことを振り返ると、私は愛ということについては、大きな自己満足をしていたことに気づきました。独りよがりな思いのなかで、私は愛がわかったと思っていたのです。人生に現れた新しい女性への新たな愛を高らかに歌うジョン・デンバーは、愛を安いものにして、愛を小さくしていると私は思いました。いま、彼と同様の状況にあって、私の間違いに気づいています。

この数年間のうちに愛について随分学びました。本当にたくさん学びました！

魂でつながれた 2 人という意味でよく私が話していたソウルボンディッド(魂でつながれた 2 人)という言葉についてもそうです。私の制限された愛の経験から、魂でつながれているのは 2 人であると信じていました。これも間違いでした。魂でつながれた・・・とは、私たちが言うところの魂の家族、そのうちのすべての魂に言えることなのです。そして、それは数百の魂を含むこともあります。私たちは、愛をとて個人的なものに、1 対 1 の排他的なものにしてしまいます。私はその排他的な親密さの罠にはまっていました。

今の私は、過去の私を否定することなく、私は、誰にでも彼女をとて深く愛していると、そして、キャロリンへの深い愛で、私はとても幸せであり充実していることを、何の気後れもなく高らかに宣言しています。

愛には素晴らしい働きがたくさんあることを私は知っています。

愛は愛を小さくしないばかりか、あなたが人々に感じる愛を、その愛を、聖なる方法で育て深いものにしてくれます。

ベジタリアン用とシーフードを提供するレストランに 2 人の席を予約するときは、メルローの赤ワインで、私たちが一緒に暮らしたこの素晴らしい 1 年のために乾杯するでしょう。私たちの愛、彼女への私の深い愛、彼女の私への深い愛に乾杯するでしょう！

丁度日本から帰ったばかりです。旅の間、ずっと愛を意識していました。愛は、たくさんの機会において私の選択に影響を与えました。たとえば、話をするとき、私は通訳を介することがあります。私の話している内容が通訳の経験や理解を超えていて把握するのに苦労することがあります。文化の違いもあります。そんなときイライラするのは簡単なことですが、そこにはいつも選択肢があります。愛の選択をするなら、受容が簡単だけでなく、ふさわしいものとなります。

愛を込めて マイケル

質問と 洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身のより深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

質問: 瞑想の間、どうやって私のマインドを静かにさせたいのでしょうか？

洞察: 瞑想の基本となる目的はマインドを静かにすることにあります。しかし、マインドは瞑想の前も瞑想中も静かになりそうにありません。なぜなら、マインドの性質にとって静寂は相容れないものだからです。マインドは、たいしたことないことについてずっと論ずるのが好きだからです。

まず初めに、私のマインドもあなたのマインドもありません。マインドがあるだけです。マインドは意識とやや似ています。しかし、意識はすべての生命の中でそれ自身を表現しています、一方、マインドは感覚的で、思考する人生に属しています。私たちは考えます、だから、考えないでいることが難しいのです。電波によって放送されているものはまだ、そこにあって宇宙に拡大し続けていると言われています。マインドは少しこれと似ています。マインドは千年にも及ぶ思考を通して放送されてきた人類の広大な集合的思考で満ちているのです。

瞑想にはいくつかの異なる方法があります。マントラを使った瞑想法があります。それは、マインドを静めるよう作られたマントラに焦点を当て、マントラを繰り返します。そして、覚えておいてください。瞑想とは、自己訓練についてです。瞑想に、視覚化を用いる方法もあります。あなたはスピリチュアルな旅の途上にいる、あるいは素晴らしい師とともにいるなどと想像力を使って視覚化します。こういった瞑想法では、想像され、視覚化された現実がより偉大な現実によって照らされる瞬間がやってきます。そして、あなたは知覚の限界を超えるのです。

勿論、単にリラックスするために、ストレスを発散させるために瞑想する人もいれば、スピリチュアルな成長、洞察を得る手段として瞑想する人もいます。

ではマインドをどのように静めましょう？いくつかの方法をお伝えしましょう。ここに書いてあることを練習すれば役に立つでしょう。

座って、目を閉じ、リラックスしましょう。あなたが池の土手に座しているところをできるだけ詳細にイメージしましょう。その池を見てください。その池に焦点をあわせませ。その池とは、この瞬間です。池の水は意識です。あなたの焦点を池に集中させ続けませ。そうしていると、鴨が池に向かって飛んできます。その野生の鴨とは、手に負えない思考のことです。池に焦点をあわせ続けませ。この瞬間にいるのです。鴨である思考は、池の表面すれすれに飛んでくるでしょう。しかし、あなたは無視して池に焦点をあわせ続けませ。鴨を消そうとしたり、なんとかしようと思わないでください。水の表面を彼らがかすめるのに気づいています。しかし、あなたの焦点は池にあります。鴨である思考が池であるこの瞬間をすれすれに通り過ぎて、飛び去ります。

鴨を追い払おうとしたり、撃ち落そうとしたりしないでください。鴨に注意を払わないことです。そうしないと、池に降りてきて、池を濁します。言い換えると、思考と戦ったり、考えることを止めようとしてしまったりしないでください、ただ無視するのです。そうすると、鴨は次第に少なくなって、思考が割り込んでくるのが少なくなります。

私が好きなもう 1 つの方法は、目を閉じてリラックスし、柔らかくて静かな音楽を聴くことです。もし、本当に聴いているなら、考えることはできません。思考が忙しくしているとき、音楽は聞こえてきますが、本当に聴いてはいません。殆どどの人は、本当に聴くことができていません。本当に聴いていながら考えることはできません！私たちは、ずっと音や人々の話を聞いていますが、子ども時代のどこかで、本当に聴くことをやめています。本当に聴くのではなく、聞こえているのです。今日、多くの人が、本当に聴くことと、ただ聞こえることの違いを知りませ。

ハートに響く音楽を聴く・・・とてもシンプルですが、大変、効果的な方法です。

本当に聞くとあなたはこの瞬間にいます。それが、瞑想の本当の場所です。

質問: 痛みは、良い先生であると聞いたことがあります。世界中で、痛みと苦しみが際限なく続いています。どうして、痛みが、良い先生と言えるのでしょうか？

洞察: 私のスピリチュアルな道も痛みと苦しみの道でした。痛みと苦しみの道はお勧めしません。痛みは良き先生と言われますが、愛のほうははるかに良き先生です。しかし、次のことには明確にしておきましょう。あなたがこどもだったとして、熱いストーブを手で触ろうとします。母親は、「触っちゃ駄目、熱いのよ」と言います。でもこどものあなたには熱いことの意味がわかりません。そして、ストーブに触れます・・・学びます！好むと好まざるに関わらず、痛みが子ども時代からの先生となっています。残念ながら、微妙であり嫌な要因が次第にこのことに入ってきます。痛みの刺激のもとで学んでいると、潜在的に、学ぶためにより多くの痛みを引き起こします。

痛みを通して学ぶことが深く潜在意識に染み付いているため、自分でそうしていることに気づきません。そのため、自分の痛みや苦しみ、トラウマや病気は自分に責任があると思う人は殆んどいません。でも、責任があります。

最近、癌患者を支援するグループで話をする機会がありました。たった1時間だったので、深く入ることはできませんでした。それに、彼らも世間的な現実レベルからの話のほうが、分かりやすいこともありました。一般的に、癌の患者は自分の事を不運の犠牲者と見なします。しかし、本当は、生命の原理を知らない・・・その犠牲者です。本当は意識について話したかったし、意識における不調和がどのように肉体に病気として現れるかを話したいと思いました。悲しいことですが、人類の最大の中毒は痛みと苦しみに対してです。このことを、どうしたら終わらせることができるでしょう。

愛と光の大いなる存在としてあなた自身に接しましょう
自己批判と自己判断をやめましょう
あなた自身をすべて、嫌だと思っても含めてすべて愛しましょう！！
愛の癒しのパワーを見出しましょう

なぜなら愛はあなたを完全に癒すからです。もう1度繰り返します。
痛みは有能な先生ですが、素敵な先生ではありません。

質問: 感情的な愛と無条件の愛との違いを教えてください。

洞察: その愛の違いをわかること、そのことがここ数年間にわたる私のスピリチュアルな旅の一部でした。だから、その違いを語ることは、とても簡単なことです。感情的な愛というものはありません。たしかに、私たちは愛を感情的なものにしています。そして、その中で最善を尽くしますが、感情的な愛は、真の愛ではありません。

感情は私たちの気持ちを、私たちの愛の気持ちを表現しますが、決して本当の愛ではありません。

私たちは愛を個人的なものにしてしまいます。あなたを愛しています。あなたも、私を愛していますか？これは、典型的な感情的な愛です。それでもかまいませんが、これは、愛ではありません。残念ながら、男女の間では、愛よりも感情的な必要性に基づいた関係が殆んどと言えます。純粋な愛の関係がないと言っているのではありませんが、あなたが考えているよりもはるかに稀なことです。

自分が愛していると公言している人に対して乱暴したり、暴言を吐いたりしてしまう関係にあるものは、感情的なトラウマや不安感です。あなたが本当に愛しているなら、殴ったり、叫んだりしません。なぜなら、その行為は愛の表現ではないからです。虐待は感情的に重荷を背負いすぎているか、感情的な未熟さから来ています。パートナーへの嘘も同様です。これらは、愛の欠如、あるいは、本当の愛への能力の無さを示しています。セックスと感情が混同されると、それはつかの間のものとなり、そこに愛はありません。

真理の原理を見ると、それは明白です。本当のあなたであるセルフの他には何もありません。つまり、あなたが本当のあなたを愛するのと同じ程度だけ、他の人を愛することができるということです。セルフを愛する、そこに自己批判も自己判断も、自分への怒りも、自己嫌悪もありません。あなたは、あなたを心から愛しています、あなたのあらゆることを愛しています。そうすると、あなたは、無条件に他の人たちを愛することができるのです。

はっきりさせましょう。愛は感情ではありません。愛は神の本質であり、その表現です。愛は、純然たる創造の本質です。物質的な生命とは、表現された愛なのです。神は愛です。もっと、書き進めることができますが、もうお分かりで

しょう。無条件の愛とは文字通りです。

いかなる条件もなくあなたを、他人を愛することです！

「あなたを愛している・・・しかし・・・」愛にしかしは、ありません。

マイケルに質問のある方は左記のアドレスにご連絡ください。英語での質問はキャロリン宛：
carolyn@roadswayusa.com 日本での質問は、左記へ： yasumi@galaxy.ocn.ne.jp

あなた自身を信頼しなさい。愛を持って信頼するのです。私は痛みの道を歩きました、だから、あなたたちに痛みの道は勧めません。愛が本来の道です・・・あなた自身を愛することです。あなたが今、自分に対して冷たい人であるなら、あなた自身に優しくする練習をしてください。そこから起きてくる不思議にオープンでいることを学んでください。そうするとその過程がとても簡単になります。

by マイケル

ローズウェイからのご挨拶

by キャロリン



またまたこのニュースレターの発行が遅くなってしまいました。14年前にこのニュースレターをアメリカで作り始めた頃は、年4回の季刊誌を発行することはとても簡単なことでした。

しかし、今年はインテンシブやセミナーで4ヶ月も海外で過ごしました。来年は、そのツアーが5ヶ月に及びます。ニュースレター作成を、私はずっと楽しんでできました。しかし、昨年旅に出ている期間が多くなって、それも難しくなりました。旅から帰ると、ニュースレター以外にも山のように仕事が山積んでいます。

そのため、マイケルと、今後ニュースレターをどうするか話し合いました。そして、年4回のうち、2回は内容を多くして、その間、2回、ニュースレターミニ版を作ることにしました。これで様子を見ようと思っています。次回の発行は来年3月、2009年のツアーが始まる前になります。

一番のお知らせは、「Through the Eyes of Love, Journeying with Pan」が出版されたことです。ローズウェイのホームページから購入できますし、E-ブックとして、ダウンロードして読むこともできます。もうすでに、たくさんの注文を受け、郵送済みです！マイケルのメタフィジカルな世界[4部作である「魂との対話」「魂への旅」「魂の絆」「時間のない領域へ」]を愛する人たちが、待ち望んでいた本です。ホームページからの注文が苦手な人は、直接メールで右記へお申し込みください。carolyn@michaelroads.com

「魂の絆」、「時間のない領域へ」も、11月の半ば過ぎには、ローズウェイウェブサイトから購入可能になります。4部作が次々と出版されたとき、当時の出版社の代表であるハル・クレイマーはマイケルの本を「20年先に行く本」と褒めてくれました。最近、著書を再販のためパソコンで入力し直しましたが、マイケルの体験がとてもユニークで、素晴らしい内容であることを再認識しました。2009年の初春には下記のサイトから、アメリカでも購入可能になります。

www.roadswayusa.com

また同じウェブサイトでも最近マイケルがワシントンで受けたラジオインタビュー「大いなる自然の翻訳者」を50分間無料で聞くことができます。2008年度ツアーの写真も掲載しました。写真を送ってくださった皆さん、ありがとうございます。マイケルの詩に曲をつけて歌っているミュージシャンのナナとアンキのホームページにもリンクされています。彼らが新しく作ったCD「生命の歌」(The Song of Life)に吹き込まれている曲はすべてマイケルの作詞によるものです。彼らのウェブサイトから注文することができます。

私たちは日本から帰ったばかりです。初めてまったく違う文化を私は経験してきました。その違いはまず食べ物から

始まりました！ひじき、レンコン、ごぼう、筍、菊の花びらなど、私にとってははじめての食材がたくさんありました。でも、おいしいものばかりでした。特に、女神山でけいこさんとスタッフによって作られる食事は格別でした。

明らかに健康的な食材です。誰もが、ほっそりして健康的です。日本人を何歳かと予想するとき、あなたが予想した年齢に20歳加えると丁度あたります。彼らはとても礼儀正しくお互いに敬意を払います。参加して下さった日本の皆さんに愛と感謝を送ります。とくに、日本に滞在している間、ずっと一緒に過ごしてくれたやすみさんには特に感謝しています。すべての予定から始まってメニューの通訳まで、あらゆることをしてくれました。

私にとっては、とても素晴らしい年でした。59年間の歳月を合わせても、今年ほどたくさんの国を訪問し、たくさんの素敵な人たちに会ったことはありません。人生でこんなことができるようになるとは予想さえしていませんでした。オランダで春を、アメリカでは夏、日本では秋を経験しました。ノルウェーの山頂は冬でした。

私の人生は、とても豊かで、目的に向かっていきます・・・この人生を愛しています！人生を愛しており、その中にあるすべての人、すべてのことを愛しています。私が出会う人は私の大いなるセルフです。

マイケルと私が分かち合う愛のレベルは、ついこの間まで私には分からないことでした。

無条件に愛し愛されることが生み出すもの、それは喜びあふれる自由でした。

贈り物の季節です。一番に、あなたがオープンする贈り物が、あなたのハートでありますように。

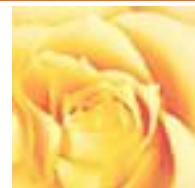
あなたである無条件の愛をすべての人に表してください・・・すべてを愛で包んでください・・・

人生とは本当に贈り物です！

次回会うときまで、輝きましょう・・・すべての生命の輝かしい愛とワンネスの中で キャロリン

マイケルの言葉です・・・あなた自身が、あなたにとっての最高の友人になりましょう！！

ガイアホールの奇跡 by 大森 仁



仁さんは長野の森の中に、女神山と名づけた美しいリトリートセンターを作っています。これは、彼の人生の目的です。ここに書かれていることは仁さんが、日本のインテンシブ会場であるガイアホールを作るに至ったお話です。

2000年頃のことです。新たな場を創るようと神？なる力が背中をグイグイと押してきました。その当時、神の流れに委ねることにまだ怖れがあり迷っていました。実際に造るに当たっての問題が山積していました。

神の力を言葉にすると「共に愛と平和を学ぶ場を創りなさい」でした。振り返れば生まれたときにはそれが自分の使命であると知っていたように思います。20歳頃から無意識に場作りに向かって人生の選択をしていました。

ガイアホール建設の予算は数千万円、現実的にそれまでの建設や土地の購入でお金は使っており、ホールのためのお金はありませんでした。それから、パートナーから将来的に経営が成り立つはずがないと反対されました。また思想面では愛と平和を学ぶ場ができるなんて本気で考えているのか、もっとふさわしい人がいるのではないかなど、周りからの理解を得られず困難ばかりが見えていました。

神の力？も初めは一人で優しくそっと背中を押していた様でしたが、次第に多くの神々にドンドン押されている感覚がして「わ、わかりましたよ」と戸惑いながらも、その神の道に従おうと決意しました。

そしてパートナーに伝えました「今回は神の道を選択することを理解して欲しい、その一つであるガイアホール建設を黙ってやらせて欲しい」と。

その矢先、台風が女神山を襲いました。

台風が去った翌日、森の中へ行ってみるとガイアホールの予定地に神がこぶしを振り下ろしたように、15本の大木がまあるく円形に倒れていました。ホールを創る場所はどこ以外にはないと決めていたまさにその場でした。神なるパワーがきれいに準備をしてくれたようでした。

その時の感動を表現するのは難しいのですが、痛快、驚嘆、歓喜、至福など、神とのつながりを非常に強く感じました。急いでパートナーを呼び、きれいに木が倒れた場所を見せながら「ほら、神がやれと言ってるよ」と自慢げに言ったのを覚えています。

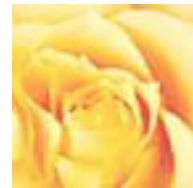
そして、マイケルの「リトリート」の収益が大きな支えになり、さらに投資や寄付が必要なだけ集まりました。建設が始まると遠方から若者が湧くように集ってきました。構造上の決定的な問題が生じると必ず手助けが現れるなど、力ない私を常にサポートしてくれる力が働いてくれました。

そして、ガイアホールは2002年秋の「リトリート」から皆さんにご利用いただける運びとなりました。

不思議なサポートや力がなければ、この壮大な事業は完成できませんでした。奇跡のサポートをくれた神々と人々に深謝致します。

「勇気と実行力がなければ、セルフの真理を知ることはできません」……マイケル

虎の話し by さなえ



虎の話 [日本のインテンシブでさなえさんが教えてくれました]

私たちは、虎から追いかけているかのように人生を送っています
立ち止まると、虎に食べられてしまう、つまり、悲しみや、孤独、絶望に襲われるかもしれないと走り続けます
実際、何に追いかけているのか調べもせずに、走り続けます
ですから、落ち着いて周りの景色を楽しむこともできないし、どんなことも落ち着いて楽しむことができません
安らぎが欲しいなら、虎に食べられてしまうしかありません
つまり、それがどれほど恐ろしく見えようとも、その感情に一切抵抗せず身をゆだねるのです

もし虎に完全に食べられたなら、感情を感じつくしたなら
すべての感情は、平安と喜びに変化するでしょう

意識のコラム by マイケル



数ヶ月前、メールで次のような内容の質問を受けました。「誰もが奇跡を起こすパワーがあると本に書いてありました。たとえば、イエス・キリストが成し遂げたような奇跡について、です。このパワーをどのように使ったらいいのか私は知りたいのです。人類には奇跡を起こすパワーがある、それはうれしいのですが、私はそのパワーについて話すことではなく、実際に使うことに興味があります。私の質問の意味がわかりますように。私は英語があまり得意ではありませんから」

そのメールを読んで思い出しました。娘のトレイシーに初めて車の運転を教えていたときのことで、それは本当に神経をすり減らすようなことでした。彼女が私の教えに耳を貸そうとしないことで話し合っていたときのことで、彼女は、きっぱりと言いました。「私は、運転の仕方を学びたいのではなく、運転できるようになりたいだけなの。運転の仕方を学ぶなんて大嫌い！！！」

奇跡とは、運転の仕方を学ぶことと少し似ています。誰もが奇跡を起こせるようになりたいと思います。勿論、私たち誰にも、奇跡を起こすパワーがあります。そのことに疑いはありませんが、殆んど人は、奇跡を起こすことに伴う責任と知恵を持つには至っていません。奇跡を起こす、それは私たちのパワーについてだけではなく、自分のパワーと“共に在る”ことについてです。奇跡はこの瞬間に起きるものです。しかし、誰も奇跡を起こすために、あるいは奇跡を見るためにすら、「この瞬間にいる」、「意識してこの瞬間に在る」ことをしません。

この質問をした人は、イエス・キリストを例えにしていたので、私も彼の話の続けましょう。あなたは、イエスが奇跡を起こせるような意識の状態に達するためにどんな経験をしたのか考えたことがあるでしょうか。初めに訓練の時代を過ごした後、彼は自分のパワーを生きました。意識して人生のこの瞬間を生きたのです。そこで、彼は大いなるセルフを表現していました。奇跡とは、人生のこの瞬間の動きに気づいていることについて、です。この瞬間の動きに気づいているということは、心臓の鼓動と鼓動の間にある静寂を聞くようなものです。そこは、生命・意識が創造過程にある空間と言えます。私たち誰もが、あらゆる瞬間に自分の人生を創造しています。

5日間のインテンシブで、私は、参加者にこのことを思い出してもらいます。人生のあらゆる瞬間に、あなたは自分の毎瞬の人生を創造しているのです。考えるべきことです！！

あらゆる瞬間に、あなたは自分の人生を創造しています。

つまり、あなたに起きることすべては、あなたの創造なのです。

そしてこの創造には、終わりはありません。

胎児からあなたの人生すべて、そして、その創造は、肉体から、メタフィジカルな生命に移行を経験するときも続いていきます。この移行を、私たちは「死」と言います。

しかし、私たちは「肉体」をまわって生きている間も、メタフィジカルに生きています。実際、メタフィジカルなことが、物質的なことよりも先行します。私たちの物質的な人生は、メタフィジカルな生命の反映です。その反対ではありません。イエスは、このことすべてを知っていたのです。そして、その気づきを生きていたことは疑う余地がありません。イエスは、死んだ人を生き返らせたと言われています。このことが本当に意味することを見てください。多くのキリスト教徒は、いわゆる死とは一度きりのものと信じています。だから、彼らにとって死は、死です。あなたが本当に人生・生命を知っているなら、あなたは死についても知っているはずで、死はありません。

意識は、本当の自分であるセルフが表現する物質的な形を引き寄せます。その表現するものは意識です。私たちは、これを生命と呼びます。意識が肉体から離れるとき、私たちは、これを死と呼びます。

しかし、生命はいつも表現しています。決してその表現を止めることはありません。

イエスが、病人を癒したり、死人を生き返らせたりしたとき、彼は、愛と真理に彼のエネルギー・パワーを集中させたのです。彼の生命についての認識はとても明晰だったので、死の幻想は、彼のエネルギーフィールド、彼のオーラのパワーによって取り消されたのです。焦点がもつパワーの素晴らしさに気づいている人も、そのパワーを使う人も、殆んどいません。あなたが焦点をあてるころへと、エネルギーが流れます。イエスは、彼の焦点がもつパワーと彼のエ

エネルギーを使って「世間の信念」を「彼に内在する真理の現実」へと変えたのです。あなたも私もそうするパワーがあります。

彼は言いました。「私ができることは、あなたにもできる」と。彼は、私たちのなかに隠れているパワーについて述べたのです。しかし、このパワーは完全なタイミングでしかやってきません。そして、私たちはそのタイミングです。私たちの毎日の生き方によって、私たちに有るパワーへのタイミングを早めたり遅らしたりしています。

覚えておいてください。私たちは、あらゆる瞬間の現実を作り出しています。長い間、たくさんの人生を人生の幻想に対する恐れと混乱から生きてきた私たちは、何が起きようととりあえず走り続ける暴走電車のような人生を創造しています。そして、私たちは日々の出来事や不慮の災難、トラウマや劇的状況から起きる混乱状態が人生であると信じているのです。間違いです。日々の意識が、瞬間、瞬間のあなたの人生を創造しているのです。意識しないで日々を過ごす、習慣や、条件付け、信念、執着などから人生を作り出すこととなります。

どのようにして変えることができるでしょう？簡単ではありませんが、可能です。まず、変えることを選択しなければなりません。そして、その選択を生きるのです。それから、あなたの人生の瞬間、瞬間に焦点をあてる、意識していることが必要です。あなたの選択と成し遂げるために必要とされる行動を取る、そのことに生涯かけて取り組まなければなりません。

選択、行動、焦点、そして、献身的取り組みは欠くことのできないものです。しかし、物事に反射的に反応する暴走車を直ちに止められるものはありません。暴走車の勢いが強すぎます。しかし、過去に創造した辛らつな攻撃に恐れから反応するのではなく、愛から応答することを選択するのです。そうすると、暴走車の蒸気を減らし、ブレーキをかけたこととなります。

これが、パワーです！！ 私たちにはこのパワーがあります。このパワーは、私たちの生命と人生に固有のもの、生来のものです。しかし、いつも、しかしがあります、生命の真理を知り、明確な焦点を持つことから、どうやって創造的にこのパワーを使うか学ばなければなりません。

もし、人生の幻想を信じ、その幻想に反応するなら、人生の幻想は、いつまでも続き、困難も続くでしょう。

しかし、生命について殆んど知らないという前提に立って、生命の大いなる真理を学ぶことに真摯になるなら、あなたは、奇跡の場へと向かう旅をしていることとなります。

しかし、イエスがどうやって死んだかを忘れないでください！誰も彼の起こした奇跡に感謝しませんでした。もし、誰かがあなたの目の前で奇跡をもたらしたとき、あなたは勇気付けられますか・・・あるいは、より小さく感じますか？考えてみてください。よりパワフルになるでしょうか、あるいは、羨ましいと思うでしょうか？「私も奇跡を起こせる」と思うのか、あるいは起こした人に怒りを感じるでしょうか？これまでの歴史が示していることは、人がパワフルになればなるほど—よきことであれ悪しきことであれ—人々は、ますます彼に憤慨し、嫌います。

私たちにあるパワーを知恵と共に使う、その使い方を学ぶ必要があります。そうすると、誰もが、奇跡を起こす人になることができます。あなたも私もすべての中で一番素晴らしい奇跡となりえます。

人生の幻想に打ち勝ち、あなたにある最高の可能性をあらゆる人となることは、素晴らしい奇跡です。

それは、この瞬間の動きと、完全に調和しています。

そして、私たちすべてが必要とする素晴らしい奇跡、それは無条件の愛を生きることです。

水の上を歩くといったような奇跡よりも、もっと大切なことがあります。たとえば、想像してみてください。私が蓮華座をして、地上1メートルほど上を浮かびながら、話をするとします。たくさんの方がこの珍しい光景を見ようと押しかけるでしょうが、本当に私の言葉を聞こうとする人はいるでしょうか？彼らは、その奇跡について興奮しながら話すでしょう。そして、日々の幻想以上に、この劇的な現象に魅惑されるでしょう。そうすることで、人々にどんな価値あることを差し出しているでしょう。何もありません。

勿論、私は蓮華座もできません。蓮華座をする必要もありません。しかし、私は不安も心配もなく、この瞬間を意識的に生きることができます。心配も不安もどんなものか忘れてしまいました。ですから、奇跡を望むなら、内なるところで真の平安と大いなる愛を生きてください。小さな奇跡から始めてください。

人類に対する無条件の愛へ、到達してください。

これが、私たちの必要とする奇跡です。

できるだけ多くの方がそうなる必要があります。私たちは、怒りで反射的に反応するのではなく、他人への真の言葉で、愛で応答する奇跡が必要です。

【2009年度ローズウェイ・インテンシブ・セミナーのお知らせ】

今年のマイケルはパワフルで軽やか、そして、愛と喜びのエネルギーにあふれていました。キャロリンのエネルギーも加わりました。キャロリンの「58年間の手放し」のお話は、とっても勇気を与えてくれるものでした。

来年もさらにパワーアップしてより広大な真理の経験を伝えてくれることと思います。個人的には、自然界を統括するパンからの、メタフィジカルな存在からの学びがマイケルの日々のなかでどう深まるのかとても楽しみです♪マイケル、キャロリン、そして、そこに参加した人たちのエネルギーの中から素晴らしい経験と学びが生まれます。

まだ早いですけれど、今からぜひ予定を立てておいてください☆

やすみ

2009年10月3日(土)4日(日) 東京週末セミナー(予定)

10月6日(火)・7日(水)・8日(木) ネイチャーセミナー

10月9日(金)から13日(火) インテンシブ・セミナー

10月17日(土)18日(日) 京都週末セミナー